土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　一般国道487号 道路災害防除事業（早瀬大橋耐震補強）に伴う仮設道路修正設計及び用地測量業務委託

事業名 または 工事名　一般国道487号 道路災害防除事業（早瀬大橋耐震補強）

調査目的及び調査対象　道路 掘削・掘削のり面

ボーリング名	BorNo.2	**調査位置**	広島県呉市音戸町早瀬一丁目			**北緯**	34° 09′ 20.8097″
発注機関	広島県西部建設事務所呉支所			**調査期間**	2020年 12月 15日 ～ 2020年 12月 18日	**東経**	132° 29′ 39.0578″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**		**ボーリング責任者**	
孔口標高	T.P. 11.84m	**角度**	180° 上下 90° 0°	**方位**	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90°	**使用機種**	**試錐機**	YBM YSO-01
総削孔長	14.00m								**エンジン**	クボタ　EA10	**ポンプ**	YBM SP-40

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
1											
2											
3	8.24	3.60		礫混り砂（盛土）		暗褐	非常に緩い～緩い			深度0.1mまで植物根が多く混入する。 深度0.4mに t=4cmの砕石挟む。 深度0.4～0.9mの間は細粒分やや多く混じる。 深度1m以深はマサ土主体で、φ15mm程度までの礫混入する。	
4											12/16 5.00
5											
6											
7				風化花崗岩		淡黄灰				深度3.6～4.5mは、主に礫状～岩片状コアで、やや硬質。 深度4.5m以深は、原岩組織を残すも脆弱で、指圧で容易に割れ土砂状になる。 風化進行しており、石英が変質している。	
8											
9											
10											
11											
12	-0.16	12.00		風化花崗岩		淡黄灰				風化しているが、岩組織を明瞭に残す。 一部でコアの外周が認められ、ハンマー軽打では濁音を発する。 指圧で砕くのは難しい。	
13											
14	-2.16	14.00									

標準貫入試験

深度－N値図（0 10 20 30 40 50）

N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
9	1.15	3	3	3	9/300		
	1.45						
2	2.15	1	1/200		2/300		
	2.45						
9	3.15	3	3	3	9/300		
	3.45						
18	4.15	6	6	6	18/300		
	4.45						
14	5.15	4	5	5	14/300		
	5.45						
16	6.15	5	5	6	16/300		
	6.45						
19	7.15	5	7	7	19/300		
	7.45						
21	8.15	6	6	9	21/300		
	8.45						
32	9.15	9	11	12	32/300		
	9.45						
37	10.15	9	13	15	37/300		
	10.45						
48	11.15	11	16	21	48/300		
	11.45						
63	12.15	15	22	13/40	50/240	240	
	12.39						
65	13.15	19	24	7/30	50/230	230	
	13.38						
88	14.15	24	26/70		50/170	170	
	14.32						

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
					12/15
					12/16